

目黒区

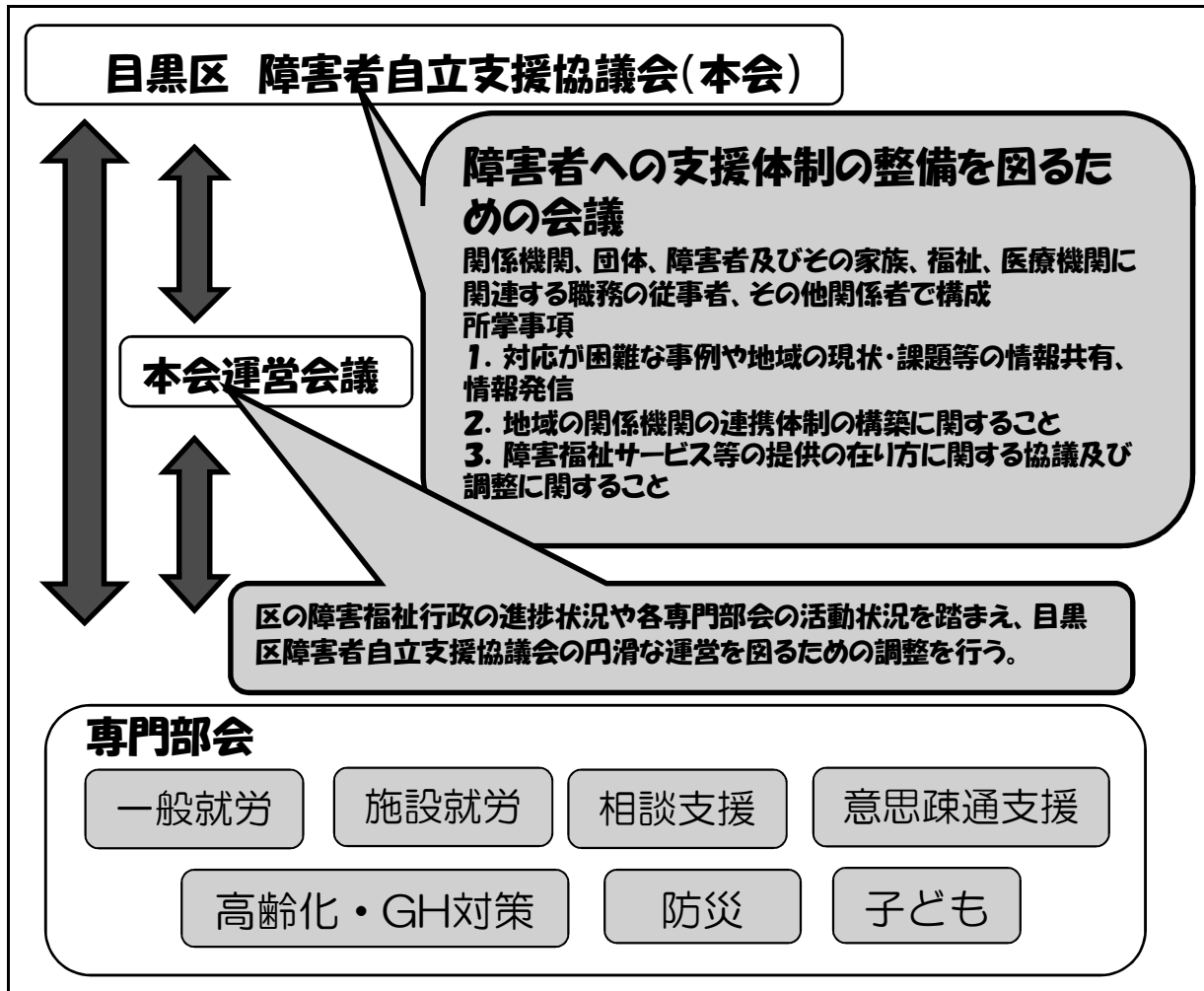
【名称】 目黒区障害者自立支援協議会

【ホームページURL】 https://www.city.meguro.tokyo.jp/gyosei/keikaku/torikumi/hoken_torikumi/shogaisha_iiritsu/index.html

【設置年月】 平成21年2月

【運営方法】 直営

【組織図】



【相談支援体制の整備状況】

基幹相談支援センター数	委託相談支援事業所数	指定一般相談支援事業所数		指定特定相談支援事業所数	指定障害児相談支援事業所数
		地域移行	地域定着		
0	5	2	2	12	6

【地域生活支援拠点等の整備状況】

整備状況	整備時期	整備類型
整備済	平成30年3月	多機能拠点整備型+面的整備型

【日中サービス支援型共同生活援助の有無】

日中サービス支援型共同生活援助の有無

開設の有無	開設時期
なし	—

【全体会及び専門部会の活動回数及び委員数】

全体会の活動回数及び委員数

全体会	
回数	委員数
3	25 (1)

専門部会の活動回数及び委員数

部会名	回数	委員数
一般就労部会	6	15 (0)
施設就労部会	3	18 (1)
相談支援部会	11	20 (2)
意思疎通支援部会	6	10 (4)
高齢化・グループホーム対策部会	6	19 (1)
防災部会	2	10 (2)
子ども部会	11	23 (0)

※「委員数」の():当事者の立場で委員に就任されている方の人数(再掲)

【全体会の委員構成及び活動内容】

(1)委員構成

種別	人数	種別	人数	種別	人数
学識経験者	2	医療関係者	2	保健所	0
教育関係機関	1	雇用関係機関	2	企業	0
障害当事者・家族・関係団体	1	身体・知的障害者相談員	2	相談支援事業者	4
障害福祉サービス等事業者	5	社会福祉協議会	1	法曹関係者	0
民生委員・児童委員	1	地域住民	0	行政職員(区市町村)	4
行政職員(都)	0	その他	0		
合計	25				

委員名簿

No.	役職	氏名	所属	種別	備考
1	会長	岩崎 香	早稲田大学人間科学学術院	学識経験者	
2	副会長	北本 佳子	昭和女子大学人間社会学部	学識経験者	
3		松尾 由理江	相談支援事業所(たまごの会)	相談支援事業者	
4		橋本 純子	相談支援事業所(みきの会)	相談支援事業者	
5		町田 幸子	相談支援事業所(目黒障害者相談センター)	相談支援事業者	
6		原山 佳寿子	地域生活支援拠点(沙羅の家)	相談支援事業者	
7		鈴木 洋一	障害福祉サービス事業所(愛隣会)	障害福祉サービス等事業者	
8		武井 美雄	障害福祉サービス事業所(あいアイ館)	障害福祉サービス等事業者	
9		徳永 泰行	障害福祉サービス事業所((株)ナイスケア)	障害福祉サービス等事業者	
10		松原 辰昭	障害福祉サービス事業所(ハートフル翔)	障害福祉サービス等事業者	
11		野村 和成	障害福祉サービス事業所(もえぎの会)	障害福祉サービス等事業者	
12		山田 脩	目黒区障害者団体懇話会推薦	障害当事者・家族・関係団体	
13		江見 加津子	目黒区失語症友の会	身体・知的障害者相談員	
14		岸井 泰子	障害当事者(ニッチの会)	身体・知的障害者相談員	
15		中島 浩志	渋谷公共職業安定所相談援助第二部門統括職業指導官	雇用関係機関	
16		白鳥 千恵子	目黒障害者就労支援センター	雇用関係機関	
17		田村 康二郎	東京都立光明学園	教育関係機関	
18		田島 巖吾	目黒区医師会推薦	医療関係者	
19		重盛 憲司	洗足メンタルクリニック	医療関係者	
20		河手 正子	目黒区民生児童委員協議会推薦 中央第1地区副会長	民生委員・児童委員	
21		田岡 尚子	権利擁護センター「めぐろ」(目黒区社会福祉協議会)	社会福祉協議会	
22		橘 静子	碑文谷保健センター長	行政職員(区市町村)	
23		保坂 春樹	障害福祉課長	行政職員(区市町村)	
24		篠崎 省三	子育て支援課長	行政職員(区市町村)	
25		酒井 宏	教育支援課長	行政職員(区市町村)	

(2) 活動内容

「障害者計画」の改訂のための議論を中心に行う。専門部会から提出された報告・協議事項に基づいて重点課題を議論する。地域社会の啓発と協議会の周知のために行うイベントについて議論する。

【専門部会の委員構成及び活動内容】

(1) 委員構成

部会 種別	一般就労部会	施設就労部会	相談支援部会	意思疎通支援部会	高齢化・グループホーム対策部会
学識経験者	1	0	0	0	0
医療関係者	1	0	1	0	0
保健所	0	0	0	0	0
教育関係機関	0	0	0	0	0
雇用関係機関	0	0	0	0	0
企業	0	0	0	0	0
障害当事者・家族・関係団体	12	1	0	7	1
身体・知的障害者相談員	0	0	0	0	2
相談支援事業者	0	0	15	0	1
障害福祉サービス等事業者	0	17	2	2	11
社会福祉協議会	0	0	0	0	0
法曹関係者	1	0	0	0	0
民生委員・児童委員	0	0	0	0	0
地域住民	0	0	0	0	0
行政職員(区市町村)	0	0	2	1	1
行政職員(都)	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	3
計	15	18	20	10	19

部会 種別	防災部会	子ども部会
学識経験者	0	0
医療関係者	0	2
保健所	0	0
教育関係機関	0	2
雇用関係機関	0	0
企業	0	0
障害当事者・家族・関係団体	2	0
身体・知的障害者相談員	0	0
相談支援事業者	2	1
障害福祉サービス等事業者	6	13
社会福祉協議会	0	0
法曹関係者	0	0
民生委員・児童委員	0	0
地域住民	0	0
行政職員(区市町村)	0	5
行政職員(都)	0	0
その他	0	0
計	10	23

(2)活動内容

部会名称	活動内容
一般就労部会	事例検討・協議会(本会)報告・情報交換
施設就労部会	主に就労継続支援B型事業所が集まり、工賃向上のための取り組みの情報共有や各事業所が抱えている課題などについて話し合いを行っている。
相談支援部会	事例検討会(3回)→地域課題等抽出 サービス等利用計画書の書式の見直し・業務内容等振り返り 課長より障害福祉計画の説明、総合福祉課からの窓口の内容説明 行政との懇談会実施 区内の福祉施設と児童の入所施設(都立)見学会実施→報告会実施 障害福祉課のCWとの懇談会
意思疎通支援部会	障害者の意思疎通支援に関する課題を共有し、政策提言を行う。
高齢化・グループホーム対策部会	部会は年6回開催(別に運営会議5回)。他にケアマネ連絡会との合同学習会を1回開催。 話し合う主テーマは、1. 高齢障害者の支援課題。介護保険サービス利用や、既存枠を超えたサービスのあり方について。2. 家族の高齢化等による家庭での支援力低下問題。3. 住み慣れた地域で生活の場を確保するためのグループホームの増加に向けた方策等
防災部会	1. 第1回 令和元年7月2日(火)16-17時 1) 部会長、副部会長の選任 2) 今年度の防災部会のテーマ 3) 中根小 夜間避難訓練について 2. 第2回 令和2年2月18日(火)18-20時 1) 目黒区内全体の防災計画 2) 要配慮者の福祉避難所などとの相関図 3) ヘルプカード記載方法 4) 事業所のBCPについて
子ども部会	医療的ケア児を対象にしたアンケートの報告会 障害者計画についての説明 障害福祉課長より・総合福祉課の業務内容説明 行政との懇談会 事例検討会 1回開催 区内児童館にて(3回) 差別解消法関連の人形劇披露 防災についての話し合いと防災部会と連携 施設見学会 小児救命救急についての学習会

【地域協議会の活動状況】

1 協議会の協議事項(複数回答)

① 相談支援事業の運営体制に関すること

相談支援ガイドブックの作成。地域生活拠点の見学

② 就労支援に関すること

一般就労部会で事例研究実践。解決がほぼ困難な内容が多い。

⑤ 困難事例等の解決に向けた検討に関すること

基幹相談支援センターで困難事例について相談支援事業所をサポートしていく。

⑧ 障害者差別解消法や条例、権利擁護に関すること

条例改正について確認。区も窓口になる。

⑩ 障害福祉計画等に関すること

計画へ反映させるため各専門部会からの意見を取りまとめ、自立支援協議会の意見として区へ提出した。

2 協議会としての役割(複数回答)

① 情報の顕在化

各部会で検討

② 情報共有・情報発信

各専門部会であがったものを本会で共有する。

③ 分野を越えてのネットワークの構築

本会で共有

④ 各分野の社会資源の共有化及び整合性の確認

本会で確認

⑤ 地域課題の整理

専門部会であげられたものを本会で整理

⑥ 課題解決に向けての検討

専門部会であげられたものを本会で整理

⑧ 社会資源の開発及び改善

相談ガイドブックを作る。社会資源についての学習会を行う。

3-1 協議会における地域課題

あがっている

3-2 地域課題の把握方法(複数回答)

① アンケート、ヒアリング等

② 全体会、専門部会、各種連絡会等

3-3 地域課題に対して取り組んだ、又は取り組んでいる内容(複数回答)

① 相談支援の質及び量

相談支援ガイドブックの作成、事例研究

② 社会資源の開発及び改善

人材不足に就労実績の向上や、支援員へのサポートを行うために、各施設での課題解決に向けた事例研究を
実践

④ 高齢福祉分野との連携

介護保険とのかかわりがある事例が増加したので、ケアマネジャーと一緒に事例検討を重ねる。

⑥ 緊急・災害等対応

防災部会で学習会を開く。

⑦ 医療的ケア

医療的コーディネーターについて区としての方向性を決める。

⑧ 障害児支援

重症心身障害児通所施設の開設、事例検討

4 協議会における当事者の参画状況

(当事者の委員がいる区市町村)

4-1 多様な当事者の委員(障害や難病の種別、性別、年齢等)が参加していくにあたり、取り組んでいること、課題になっていること

委員の数が多いので一人ひとりに意見を伺うことができず、何人かの決まった委員だけが意見を言う傾向にある。

(地域協議会を設置している区市町村)

4-2 当事者の委員だけではなく、地域で生活する多様な当事者(障害や難病の種別、性別、年齢等)の声を吸いあげられる協議会にするために、取り組んでいること、課題になっていること

目黒区では1年に1回自立支援協議会でのイベントを開催し協議会の活動をPRするなど、当事者の方に参加してもらうことで交流を図っている。